

《羊とヤギ》による ヒルデガルト ～癒しの音楽
ガット弦の豊かな倍音 音に内在するリズムとの共鳴 自然からいただく有機的な音楽 カラダこころ ゆるむとき

《羊とヤギ》プロフィール

ドイツの修道女ヒルデガルト・フォン・ビンゲンなど中世の音楽、東欧を中心とした民俗音楽、現代音楽をレパートリーに、独創的な音楽を展開する富田牧子（チェロ）とコスマス・カピッツァ（パーカッション）のデュオ。音楽の本質を一回性に見出し、自然の響きと共振を大切にマイクを通さない生演奏で活動している。2017年にCD「O Terra(大地よ)」発売。松本では2017年、2024年に続いて3回目の開催となる。

富田牧子（チェロ）

バロックとモダンのスタイルに調整された2台の18世紀の楽器に、歴史的製法のプレーンガット(羊腸)弦を張り、楽曲に合わせて持ち替えながら、自然体の音楽と室内楽の楽しさを広める活動をしている。東京芸術大学在学中にリサイタルを行い、演奏活動を始める。同学大学院修士課程修了後、ハンガリーのリスト音楽院に留学。ヨーロッパ各地の音楽祭や講習会でソロと室内楽の研鑽を積む。NHK-FM「名曲リサイタル」、ORF(オーストリア放送)の公開録音に出演。弦楽四重奏団メンバーとしての活動を経て、フリーの音楽家としてソロリサイタルや、様々な楽器奏者との組み合わせによる「充実した内容の音楽を間近で味わうコンサート」の企画・演奏を各地で続けている。身体と演奏の繋がりを探り、耳を澄ませて楽器の音を引き出すレッスンを東京・横浜・長野県・京都市で行っている。2020年に信濃町に移住。

コスマス・カピッツァ（パーカッション）

ドイツに生まれ、日本とドイツの両国で育つ。ドイツのオーケストラでヴィオラを弾いていた学生時代にコンガドラムに目覚める。ミュンヘン・インターナショナルスクール・オブ・パーカッションでモダンとラテンのパーカッションを学び、様々な国のミュージシャンと演奏活動を行う。1990年、東京へ移住。ソニーとバンド契約。オルケスタ・デ・ラ・ルスでワールドツアーに参加。葉加瀬太郎、アガルタ、熱帯JAZZ楽団、Mamadou Doumbia & Mandinka、bird、minga、長谷川きよし、UA等とのライブ/レコーディング活動をする。2008年に自身のバンド「Planetsensorium(プラネットセンソリウム)」のCDを発売。ダンサーとの即興舞踏の創作演奏、寺での法要演奏や瞑想会にも参加するなど、音楽のジャンルに捉われず、リズムと音の力の原点に立ち演奏活動を行っている。心身を癒す「内なる旅」に導くパーカッション・セラピーにも取り組み、好評を博している。

Gallery&CAFE 憩の森

松本市城山11-17 城山公園内 電話 0263-38-7660

★駐車場案内★ コンサートに車でご来場の際は、隣接の[城山公園の駐車場](#)をご利用ください